



『QCサークル』誌 2025年3月号 見どころ、読みどころ

★トップからのメッセージ

p. 2～

QCサークル本部 本部長 佐々木 眞一さん

何とかこの問題を解決したい、この課題を克服したいといった意識を持つ人にとって、QCサークル活動はとても有力な武器になります。自分たちの問題や課題を積極的に見つけ、それを打開するための武器として大いに役立つのです。問題意識を起点としたQCサークル活動は儲かる活動。しかも仕事の質と製品やサービスの品質が高まり、職場は活性化。人材育成にもつながる。QCサークル活動を取り入れて損をすることには絶対にありませんということを強調しておきましょう。

★ザ・ショット 写真で綴る QCサークル紀行

p. 5～

アイシン九州㈱

QCサークル活動の歴史は長いですが、推進事務局には現在のQCサークル活動全体の活動ぶりはまだまだ頼りなく、停滞気味とも感じるそうです。活発なサークルと低迷気味のサークルに二極化し、課題は多く、そうした状況を打開するために独自の仕組みを行っています。また、事技・間接部門の活性化のために行った社内発表会の方式見直しは、大きな転機になったそうです。事技・間接部門の活性化に向けた具体的な取り組みや、総務・経理グループで構成されたサークルの改善事例について話を伺ってきました。

★特集：標準書はどのようにして作成していますか？

p. 9～（一般者（標準）、維持／管理）

問題解決型などのQCストーリーに沿って改善を進めていくと、必ず「標準化と管理の定着」のステップがあります。本特集では、このステップで重要な役割を果たす「標準書」に焦点を当てていきます。具体的に、そもそもの標準書の定義や意味合いを確認し、標準書作成の留意点や工夫、標準書を活用するポイントなどを、事例を交えて解説していきます。1人でも多くの読者が標準書について理解を深め、職場で展開していただければ幸いです。

★推進者のページ：こんな推進者になりたい ～役割とその責任を理解し実践する～

p. 23（管理者／事務局、運営／推進）

第3回 事務局は足で稼ぐ！

本ページでは、今まで一括りにして解説することが多かった「推進者」を、「トップ」、「管理者」、「推進事務局」に分けて、その役割と責任について考えていきます。今月号から4回にわたり、「推進事務局」に焦点を当てて解説します。推進事務局の役割とは何か、心構えや実行すべきことなど、みなさんは何をすればよいかについて一緒に考えてみましょう。

★サークルQ&A ただいま出勤 QCサークル119番～あなたの困りごとに寄り添います～

p. 30～（サークル）

カルテ 188

今回は、実際に不具合が顕在化する前に、現場での運用状況や異常情報が、いち早く現場と共有できればいいのですが、現場は現場で忙しいので、なかなか異常情報の共有が難しいというお悩みです。6コママンガとともに編集委員がアドバイスします。

★体験事例&ワンポイント事例

今月は、体験事例2件、ワンポイント事例2件を紹介します。

体験事例： p. 32～

1.（サークル、医療・福祉、改善）

公益財団法人 小倉医療協会 三萩野病院 リハビリテーション科「コミットサークル」

「認知症患者様に必要なリハビリテーションを提供しよう」

2.（サークル、製造、改善）

日立Astemo㈱「ダイヤモンドサークル」

「タービンセンサラインにおける仕損費の低減 ～検査機誤判定による低電圧検査不良を撲滅しよう！～」

ワンポイント事例： p. 40～

1.（サークル、製造、改善）

㈱小松製作所「お届けうさちゃんサークル」

「出荷作業で品質は守れるのか ～新米リーダー中屋の軌跡～」

2. (サークル、製造、改善)

トヨタ自動車九州㈱「塗装なでしこサークル」
「女性の活躍できる職場づくり」

★運営のページ QC サークル活動運営の基本を学ぶ ー運営の工夫で楽しく活動してみませんかー

P. 46 (サークル、運営/推進)

第3回 会合をうまく開催する工夫

本ページは、『QC サークル活動運営の基本』QC サークル本部編に書かれているような基本的な事項の一つひとつ取り上げて解説します。活動を始めたばかりのサークル、活動経験はあるものの疑問や不安を感じているサークルなどに、運営について体系的に学んでもらうことがねらいです。今月は、QC サークル会合をうまく開催する工夫について紹介します。

★私たちの活動を紹介します！<JHS(含む医療・福祉)部門編>

P. 48 (医療・福祉・サービス)

琉球大学病院「ひみつくサークル」

サークルに改善の背景や内容を、推進者にはサークルの育成方法について紹介いただくページです。今月は、医療の質を高めるために、カルテのテンプレート使用率向上を目指したサークルにスポットを当てます。

★QC検定道場

P. 52 (サークル、一般者(標準))

第3回 QC 七つ道具① (グラフとパレート図)

今月号は、現場やQC サークル活動でよく使われているQC 七つ道具の中からグラフとパレート図について紹介します。過去に出題された問題とその解説を通じて正しく身につけていきましょう。

★連載講座：データのとり方・使い方・まとめ方

p. 56 (サークル、一般者(標準))

第3回 データを可視化する：グラフやパレート図の使い方

収集したデータが単なる数値の羅列では、今の状態を客観的に把握することが困難であるばかりか、私たちの仕事が抱えている問題や課題を共有できない可能性もあります。そこで必要になるのがデータの可視化です。今月号では、誰が見ても私たちの仕事が「どんな状態にあるのか」を理解できるように、収集したデータをグラフやパレート図などを使って可視化することを学んでいきます。

☆『QCサークル』誌に貴社の広告を掲載しませんか？

会社や自社製品のPRの場として、ぜひご検討ください！

詳細はホームページ http://www.juse.or.jp/qc_circle/をご覧ください。

++++ 本件に関するお問合せ ++++++

一般財団法人 日本科学技術連盟 『QCサークル』誌編集

TEL : 03-5378-9817 E-mail : editoqcc@juse.or.jp

